

# 14年度第2四半期(累計) 決算説明資料

2014年10月31日

沖電気工業株式会社

※億円単位の数値の表示方法について:

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。  
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

## 本日のご説明内容

1. 第2四半期累計期間決算
  - 1-1) グループ概況
  - 1-2) セグメント情報
  - 1-3) 営業利益の変動要因
  - 1-4) P/Lの概要
  - 1-5) B/Sの概要
  - 1-6) キャッシュフローの概要
  
2. 通期業績予想
  - 2-1) 通期業績について
  - 2-2) 各セグメント関連情報

## グループ概況

### 前年同期比で増収増益 各セグメントとも計画を上まわり好調

#### 【対前年同期比較】

- 売上高は、248億円(12.2%)の増収
- 営業利益は、38億円(134.5%)の増益

(単位:億円)	14年度		前年同期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報通信	1,381	32	1,203	44
プリンタ	616	40	573	△6
E M S	202	6	180	5
その他	89	16	84	13
消去・本社費	—	△28	—	△28
<b>合計</b>	<b>2,288</b>	<b>66</b>	<b>2,040</b>	<b>28</b>

## セグメント情報 【情報通信】

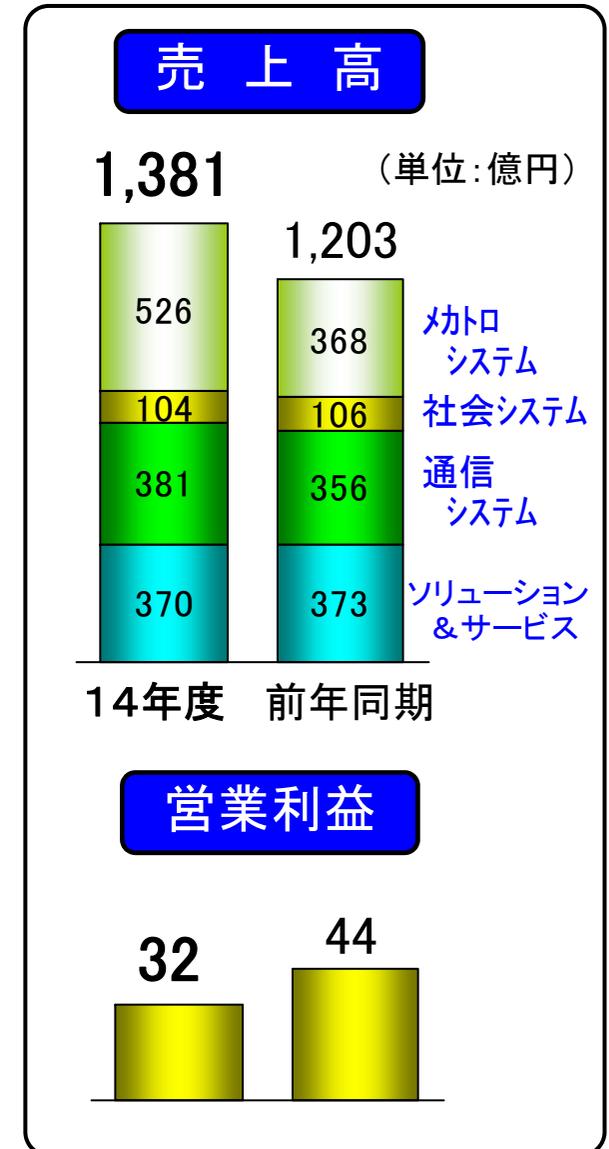
### ■売上高:前年同期比178億円増収

- ▶ ソリューション&サービス:  
概ね前年並みで堅調に推移
- ▶ 通信システム:  
キャリア向けコアNWは一巡  
ホームNW、GE-PON、保守・工事は順調
- ▶ 社会システム:  
防災、消防関連システムが引き続き順調
- ▶ メカトロシステム:  
ブラジル子会社の連結効果に加えて中国をはじめ  
海外向けATMが好調

### ■営業利益:前年同期比12億円減益

各事業とも順調、但しブラジル子会社の連結影響で減益

GE-PON : Gigabit Ethernet Passive Optical Network



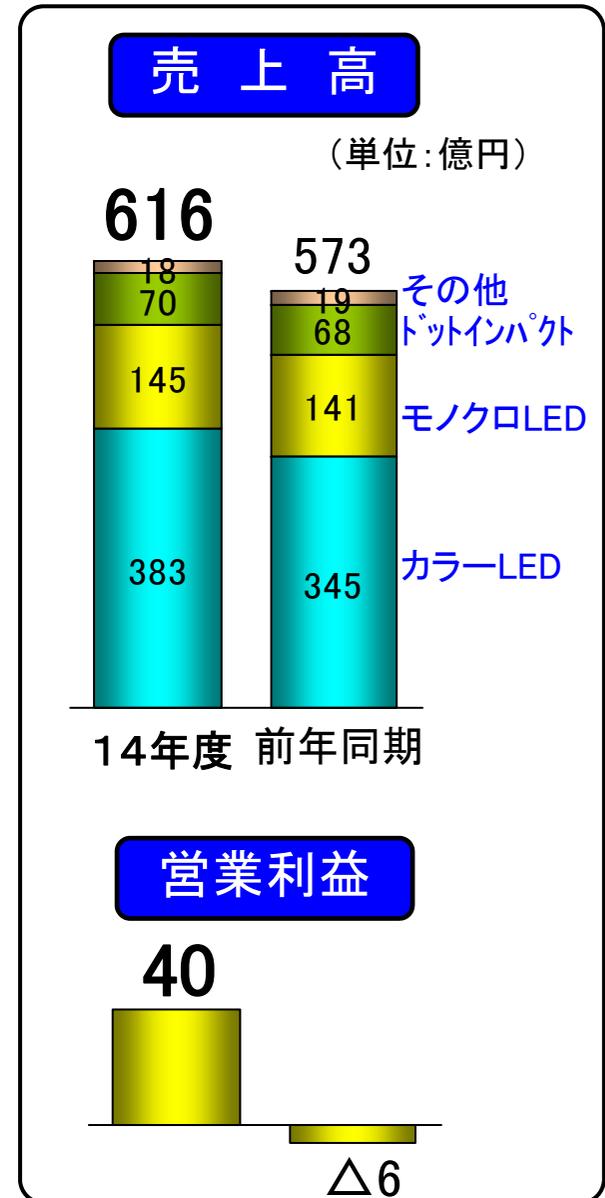
## セグメント情報【プリンタ】

### ■売上高:前年同期比43億円増収

- ▶カラーLEDプリンタおよびモノLEDプリンタ:
  - ・カラーLEDプリンタは、昨年度に発売した新商品を中心に販売は好調
  - ・モノクロLEDプリンタは、戦略に沿って販売を上位機種へシフト
  
- ▶ドットインパクト:
  - 大口案件等を獲得

### ■営業利益:前年同期比46億円改善

機種構成の良化や固定費等の削減効果により大幅に改善



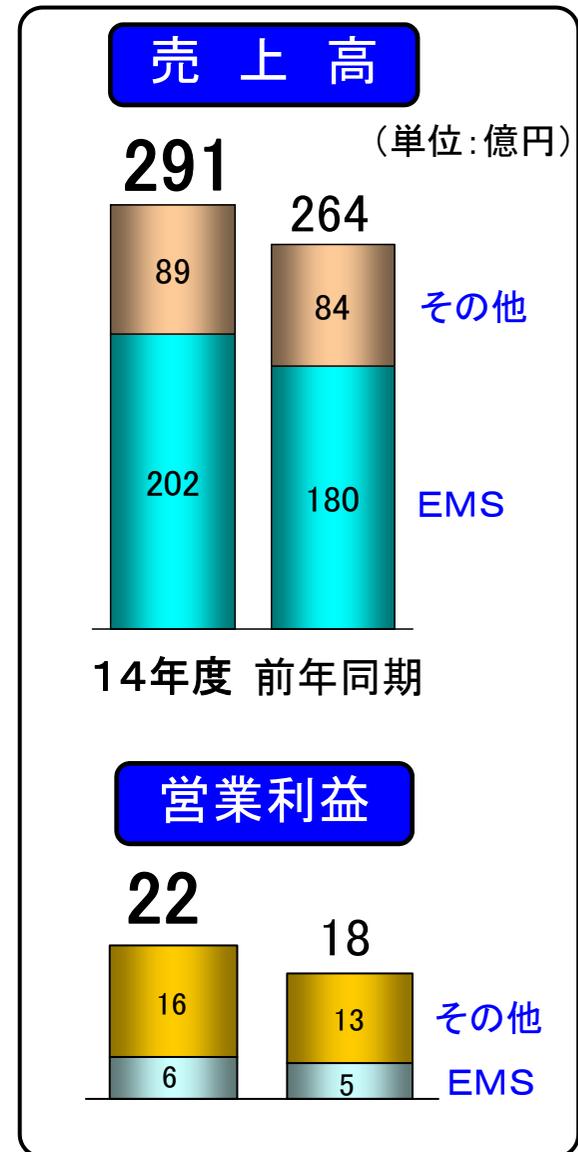
## セグメント情報【EMS】・【その他】

### ■ 売上高

- EMS:  
新規顧客の開拓が計画通り進み増収
- その他:  
部品関連が引き続き順調

### ■ 営業利益

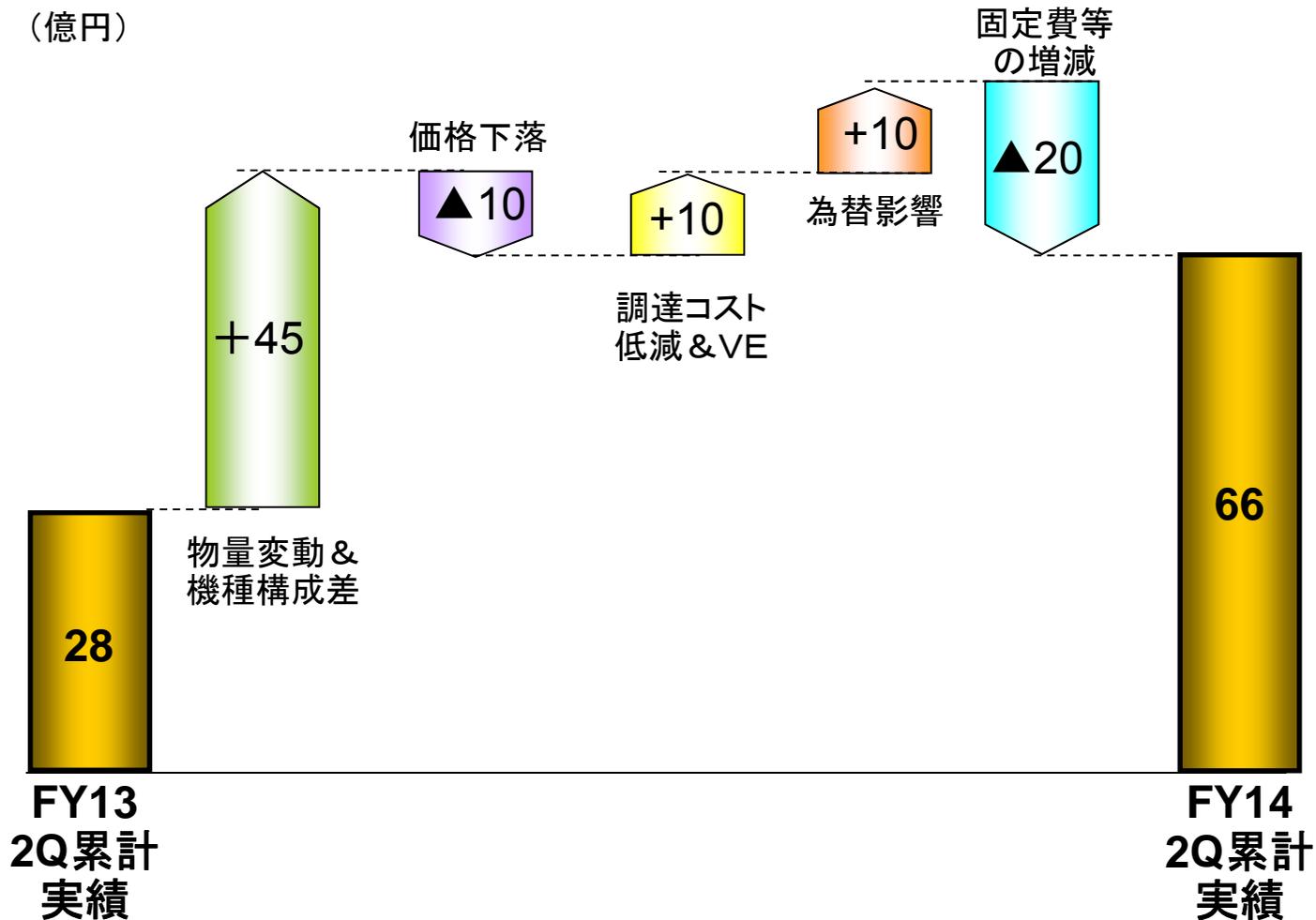
物量増の効果により増益



## 営業利益の変動要因

物量増および機種構成の良化により大幅増益

(億円)



## P/Lの概要

(単位:億円)	14年度	前年同期
売上高	2,288	2,040
売上原価	1,709	1,528
販売管費	513	484
営業利益	66	28
営業外収支	30	42
経常利益	96	70
特別損益	△1	△33
税引前利益	95	37
四半期純利益	103	18

### 【対前年比較】

- 営業外収支は、主に為替差益の減少(52→42)により悪化
- 特別損益は前年度のプリンタ構造改革が一段落したことにより良化
- 四半期純利益は85億円増加

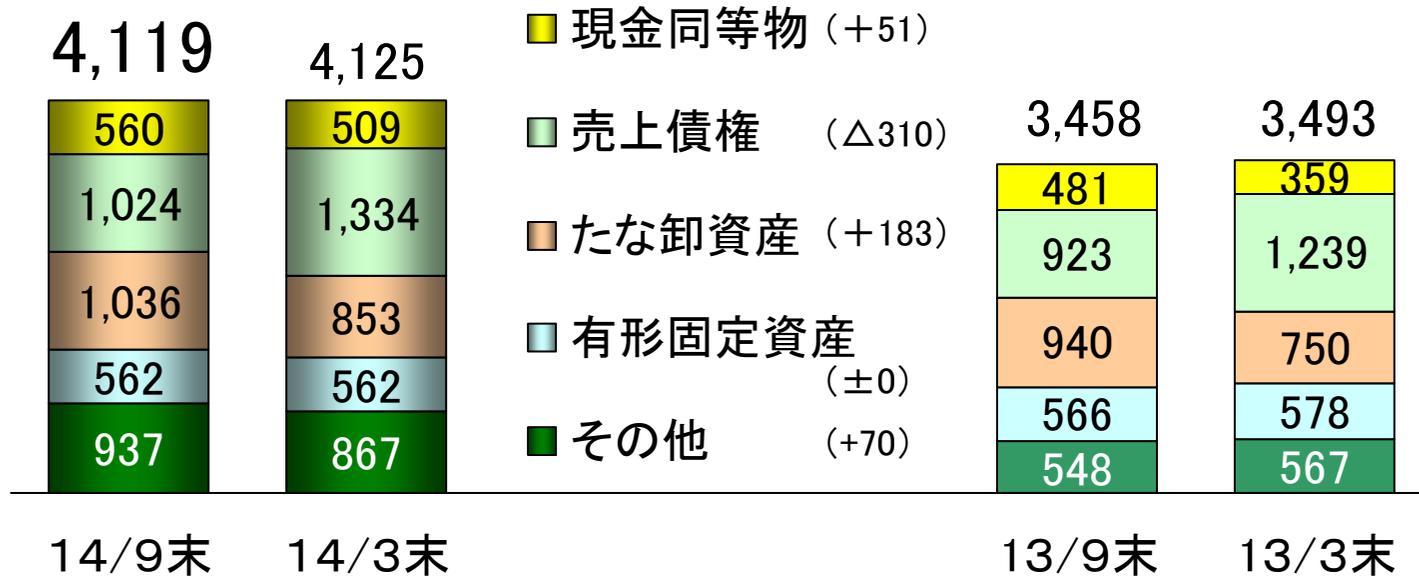
参考	期末日レート		2Q累計平均	
	14/9末	14/3末	14年度	13年度
USD	109.5	102.9	103.1	98.9
EUR	138.9	141.6	138.9	130.0

## B/Sの概要【資産の部】

- 総資産はほぼ期首と同じ4,119億円
- 現金同等物は51億円増加の560億円
- 各資産の増減はほぼ例年通りの傾向

(単位:億円)

( )内は増減

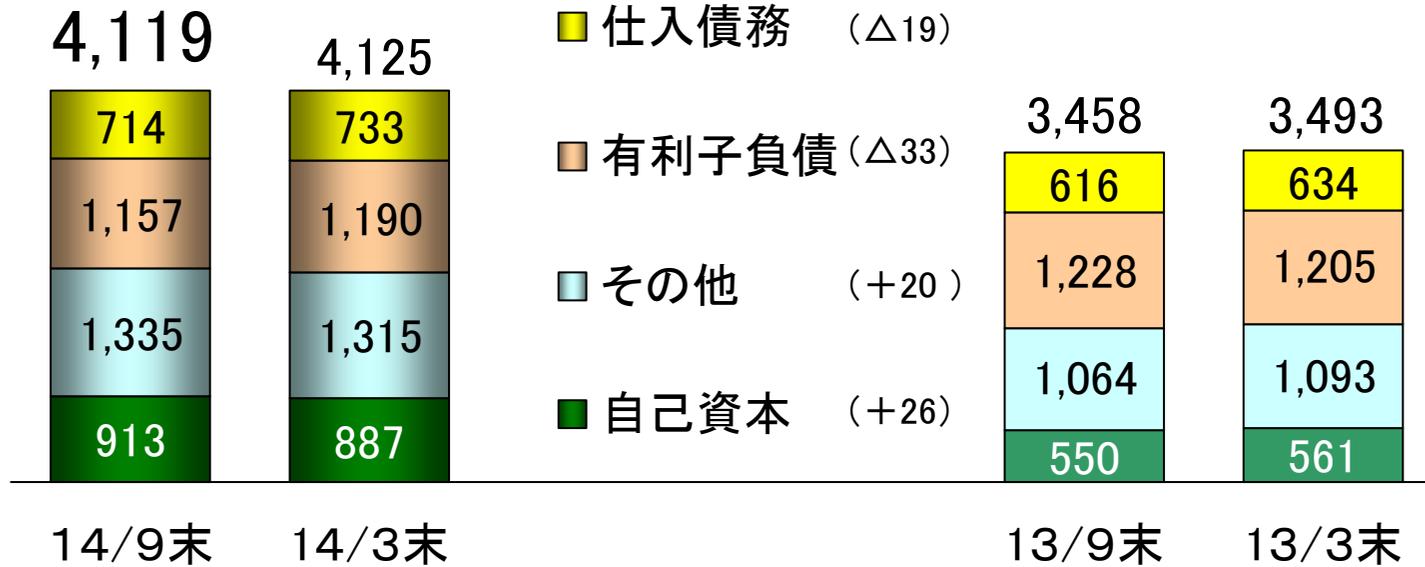


## B/Sの概要【負債・純資産の部】

- 自己資本は、会計基準変更の影響による減少がある一方、四半期純利益の積上げなどにより26億円増加の913億円、自己資本比率は22.2%
- 有利子負債は、33億円減少の1,157億円。D/Eレシオは1.3倍

(単位:億円)

( )内は増減



## キャッシュフローの概要

- 営業キャッシュフローは、当期純利益の増加などにより前年同期比84億円の増加  
投資キャッシュフローの支出増により、フリーキャッシュフローは130億円

(単位:億円)	14年度	前年同期
<b>I 営業キャッシュフロー</b>	230	146
税金等調整前当期純利益	95	37
減価償却費	68	69
運転資金の増減	122	122
その他	△55	△82
<b>II 投資キャッシュフロー</b>	△100	△39
設備投資支払額	△51	△35
その他投資活動	△49	△4
<b>フリー・キャッシュフロー(I + II)</b>	130	107
<b>III 財務キャッシュフロー</b>	△84	7
<b>キャッシュフロー計(I + II + III)</b>	46	114

フリー・キャッシュフローおよびキャッシュフロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています

## 本日のご説明内容

1. 第2四半期累計期間決算
  - 1-1) グループ概況
  - 1-2) セグメント情報
  - 1-3) 営業利益の変動要因
  - 1-4) P/Lの概要
  - 1-5) B/Sの概要
  - 1-6) キャッシュフローの概要
  
2. 通期業績予想
  - 2-1) 通期業績について
  - 2-2) 各セグメント関連情報

## 通期業績について

好調な上期の業況を踏まえて、通期の業績予想を上方修正

(単位:億円)	通期業績予想			前年同期
	今回	前回公表	修正額	
売上高	5,350	5,250	+100	4,831
情報通信	3,470	3,400	+70	3,036
プリンタ	1,300	1,280	+20	1,248
EMS	400	400	-	371
その他	180	170	+10	176
営業利益	300	285	+15	272
情報通信	220	225	▲5	234
プリンタ	95	80	+15	51
EMS	20	20	-	17
その他	30	25	+5	28
消去・本社費	▲65	▲65	-	▲58
経常利益	290	255	+35	367
当期純利益	210	175	+35	274

※下期為替レート  
USD 105円  
EUR 135円

## 各セグメントの関連情報

<p>情報通信 システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 金融・官公庁向けを中心にソリューションが順調</li> <li>➤ 通信はキャリア向け、企業向けともほぼ計画通り</li> <li>➤ 社会は消防無線のデジタル化および交通関連が好調</li> <li>➤ メカトロは中国をはじめ海外向けATMは全体として好調 一方ブラジルでは顧客の投資が先送り傾向</li> </ul>
<p>プリンタ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オフィスソリューション・プロフェッショナル市場向けは 戦略商品の販売が順調</li> <li>➤ オフィスプリンタ市場向けは上位機種の販売が好調</li> </ul>
<p>EMS その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 新規顧客の開拓は計画通り</li> <li>➤ 部品関連は引き続き順調</li> </ul>



*Open up your dreams*